

山中まゆみ市議質問項目

- ・市内小中学校の学校環境及び周辺環境について
- ・民間の不登校児童生徒支援施設運営者への補助事業について
- ・市職員の職務環境について
- ・つくばまちなかデザイン株式会社について



○早急に改善を 市役所の時間外手当未払い(サービス残業)・パワハラ問題について

5月9日報道で、市職員の時間外手当の未払いが発覚しました。庁内部署によっては「予算額をこえないように」と不適切な指導があり、時間外労働時間の申請控えが常態化しており、サービス残業が続いていました。

人手不足をサービス残業でカバー

市役所の業務によっては、1人当たりの業務量が多すぎ、人員が不足していましたが、サービス残業でカバーしてきました。この異常な事態の改善を所属長に求める職員もいましたが、部署を異動させられたり、意見を聞いてもらえないことが続いてきました。

「総務部管理に」を提案

山中まゆみ市議は、「勤務時間管理は所属長にまかせず、総務部管理で一本化しては」と提案。五十嵐市長は「どうすれば、繰り返さないようにするか、改善が必要」と述べざるを得なくなりました。

寄せられた「ハラスメント相談者へのいやがらせ」の声

山中市議には職員から「市のハラスメント相談窓口にも相談しても解決されない。相談したことが上司にばれ、さらなる嫌がらせを受けている」との声が寄せられました。

山中市議は「相談窓口での対応の見直し、加害者への教育等強化する」ことを求めました。

○過大規模校で起きている問題解決に

文科省は「適正な学校規模の条件」として、学校の学級数を12~18学級と定めています。

つくば市では昨年度まで1学年が12クラスにもなる学校がありました。新設校に分離されましたが、それでも1学年8クラスの学年があります。

教員負担が過大な学校運営

学年のクラスが多いことで、運動会を学年ごとに開催、遠足は2~3回に分けて実施、プールも民間や他校のプールまで借りていました。

早急な教育環境改善と調査を求める

山中市議は「今年度は学校等適正化配置計画の見直し年度、新設校の検討もすべきでは。子ども達や先生への影響について、専門家の調査」を求めました。教育長からは「課題の洗い直しをしていく」との答えでした。

橋本けい子市議質問項目

- ・荃崎第二小学校児童クラブについて
- ・荃崎給食センターの早期建て替えについて
- ・保育所等について
- ・みどりの南小中学校の通学路の安全対策と高速道路への防護壁設置について



○荃崎給食センター廃止でなく早期建て替えを —— 市民の署名2千人集まる

荃崎学校給食センターは地元産の野菜を活用し、配送時間も短く、おいしい給食をめざしてきました。地元は建物の老朽化で、建て替えを求めてきました。

まともに答えない教育局長

ところが市は、大規模給食センターの完成にともない、荃崎センターの廃止を事実上決めました。荃崎センターの建て替えを求める橋本けい子市議に対し、教育局長は質問にまともに答えていません。

2か月で2千筆の署名

地元ではセンターの建て替えを求める市民署名に、ほとんどの方がこたえて、この2か月で2千人に到達しています。

○岩崎保育所跡地に児童クラブの建設を

寄せられる切実な声

荃崎第2小学校児童クラブは、現在73名の児童が利用しています。小学校の空き教室1階部分では足りず3階の空き教室まで使用しています。

3階教室はクーラーがなく猛暑が続く夏は大変です。しかも指導員同士の連絡はトランシーバーです。隣接する保育所跡地を児童クラブ室にと、地元の声があります。

寝耳に水の「給食レストラン建設計画」

ところが突然、同地に給食レストランを建設する計画を市が発表、地元にとっては寝耳に水の話です。

橋本けい子市議は、「保育所跡地に児童クラブ室を建設し、安全で豊かな放課後の活動を保障していくこと」を求めました。ところが子ども部長からは「クラブ棟を建てる考えはない。」クーラーがない3階についても「1階に空き教室ができるのを待つ」と冷たい答弁。

自治体の責任を果たせ

橋本市議は「独立したクラブ棟で、豊かな放課後を保障するのは、自治体の責任なのではないでしょうか」と語っています。